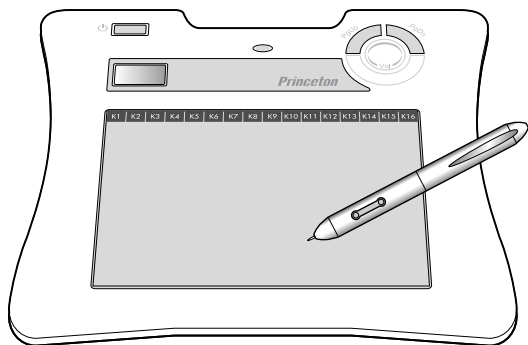


Princeton

ワイヤレスタブレット

PTB-W1

ユーザースガイド



目次




はじめに	8
主な機能	8
動作環境	8
付属品	9
付属のソフトウェアについて	10
各部の名称	12
タブレットの準備	14
Windows でご利用の場合	14
Msc OS でご利用の場合	16
Mac OS で使用する場合がございます	18
タブレットを充電する	19
専用ペンについて	20
乾電池の取り付け	20
ペン先の交換	20
付属ソフトウェア (MyScript Stylus)	21
MyScript Stylus のインストール	21
シリアル番号の入力と試用期間について	24
ソフトウェアの使い方	25
文字入力をする	27
その他の付属ソフトウェアについて	29
Power Presenter のインストール	29
Free Notes & Office Ink のインストール	30
Corel Draw Essentials3 & Corel Photo-PAINT Essentials3 のインストール	31
タブレットの基本操作	32
タブレットの通信設定 (ワイヤレスアダプタの接続)	32
ペアリングについて (無線設定ボタン)	33
LCD について	34
ペンの持ち方	35
ワイヤレスアダプタとペンを収納する	35
パソコンの画面と操作エリアについて	36
カーソルの移動と操作	37
サイドボタンについて	38
音量調整サークル	39
ページアップ/ダウンボタン	39
タブレットの設定 (Windows)	40
マクロキーについて	41
Windows Vista をご利用の場合	42
Windows Vista (Home Basic 除く) のタブレット入力機能について	42
タブレット入力機能を使用する	42
Snipping Tool	44
「Office 2007」のデジタルインク機能	44
タブレット入力の設定	45
タブレットの設定 (Mac OS)	46
PenPad を表示する	46
マクロキーについて (FKKeyHandlerX)	49
困った時は	55
製品仕様	59
お手入れ	60
専用リチウムイオン電池について	60
電池交換について	60
ユーザー登録について	61
サポートについて	62
製品保証に関して	63

安全上のご注意




本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。また、本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

 危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容が記載されています。
 警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となる可能性がある内容が記載されています。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性がある内容が記載されています。

図記号の意味

-  注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）
-  行為を禁止する記号（○の中や近くに禁止内容が描かれています。）
-  行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

危険



本製品付属のペンおよび替え芯などを、お子様の手の触れる場所など放置しないでください。誤って飲み込むなどして、大変危険です。
















人命に直接かかわる医療機器や精密機器などへの使用や、人身の安全に関与する機器、重要なコンピューターシステムなど重大な影響を及ぼす可能性のある機器、高い信頼性が必要とされる機器には使用しないでください。使用環境や使用状況により誤作動を起こす場合があります。



電子機器の使用が禁止されている場所では、ワイヤレスアダプタをパソコンから抜いて、本製品を使用しないでください。他の機器に影響を与える場合があります。

警告

-  発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに使用を中止し、ワイヤレスアダプタをパソコンから抜いてください。煙が出なくなってから販売店に修理を依頼してください。
-  内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、ただちに使用を中止し、ワイヤレスアダプタをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
-  浴室等、湿気が多い場所では使用および放置しないでください。火災、感電の原因になります。
-  本製品に水を入れたり、濡らしたりしないでください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。
-  雷鳴が聞こえたら、本機器の使用を中止してください。感電の原因になります。
-  本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、ただちに使用を中止し、ワイヤレスアダプタをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
-  本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリなどの小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。
-  本製品を分解、改造しないでください。本製品や接続機器の火災、感電、破損の原因になります。
-  熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。火災や故障の原因になります。
-  ワイヤレスアダプタが損傷した場合は、ただちに使用を中止し、ワイヤレスアダプタをパソコンから抜いてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
-  ワイヤレスアダプタの上に重いものや本製品を載せる、ワイヤレスアダプタを傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、壁や棚などの間に挟み込ませるなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。
-  ワイヤレスアダプタを熱器具の近くや直射日光のあたるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。
-  本体および、ワイヤレスアダプタを人が通るところなどひっきりやすいところに置かないでください。踏いて転倒したり、怪我や事故の原因になります。

注意



製品に湿り気や液体、異物が入ると、故障や火災の原因になります。装置周辺には、水や飲み物などを置いてこぼしたりすることがないようにご注意ください。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。



長時間使用しない場合は、安全のために必ずパソコンから、ワイヤレスアダプタを抜いてください。



お手入れの際は、安全のために必ずパソコンから、ワイヤレスアダプタを抜いてください。



濡れた手でワイヤレスアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。



ワイヤレスアダプタをパソコンから抜くときは、無理に引っ張らず必ずコネクタ部分をもって抜いてください。火災、感電の原因になることがあります。

本製品で使用する電波について

本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。

- 電子レンジ / ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- IEEE802.11g/b 無線 LAN 機器

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

2.4GHz 帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

はじめに



注意

本書内に記載の画面は一部開発中の画面のため実際に表示される画面とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

お買い上げありがとうございます。

ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。

- ・ ご使用の前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
- ・ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
- ・ 本書は保証書（パッケージに印刷）と一緒に、大切に保管してください。

主な機能

「ワイヤレスタブレット」は縦 6 インチ、横 8 インチの入力領域と 14 個のマクロキーを搭載したペンタブレットです。本製品は「Works with Vista」を取得しており、Windows Vista（Home Basic を除く）に搭載されているペンタブレット専用の文字入力機能や Office 2007 のデジタルインク機能をフル活用いただけます。

- ・ ワイヤレスで使えるので、今までのタブレットではできなかったもっと自由な入力を実現。
- ・ マクロキー機能を搭載し、良く使うソフトウェアやショートカットがすばやく使えます。

動作環境

本製品をご使用になる際、以下の環境および機器が必要です。

USB ポートおよび DVD-ROM ドライブを標準搭載したパソコン

対応 OS Windows 7 / Vista / XP / 2000（すべて日本語版）
Mac OS X 10.2.8 以降

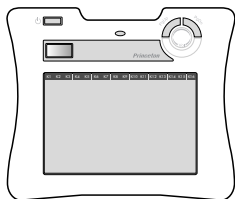


注意

付属の各ソフトウェアの対応 OS に関しては 9 ページ・10 ページの「付属ソフトウェアについて」をご確認ください。

付属品

本製品のパッケージ内容は、次のとおりです。お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。



タブレット



専用ペン



ワイヤレス
アダプタ



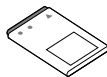
替え芯交換用
ピンセット



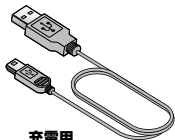
替え芯×2本



単4型乾電池
(ペン用)



タブレット用
リチウムイオン電池



充電用
USBケーブル



ドライバ&
ソフトウェア
CD-ROM



Mac用
ドライバ
CD-ROM



ユーザースガイド
(本書)



MyScript Stylus
CD-ROM



CorelDraw
Essentials
CD-ROM

付属のソフトウェアについて

本製品には、下記のソフトウェアが付属しています。
各ソフトウェアごとに、対応 OS が異なりますので下記を参照して正しくご利用ください。マクロキーマネージャ以外のソフトウェアについてはサポートを行っておりません。予めご了承ください。

マクロキーマネージャ - 製品ドライバ -

対応 OS : Windows 7 / Vista / XP / 2000 (すべて日本語版)
(P.14 参照)
Mac OS 10.2.8 以降 (P.16 参照)



注意

Windows Vista Home Basic / Windows XP / 2000 および Mac OS で本製品を使用される場合は、必ずマクロキーマネージャをインストールしてください。

マクロキーマネージャには、Windows XP / 2000 または Mac OS 用の製品ドライバが含まれております。ご利用の環境にあわせて必ずインストールしてください。

このソフトウェアは、『PTB-W1』専用のソフトウェアです。本ソフトウェアを使用して、操作エリア上のマクロキーに様々な操作を割り当てたり、タブレットの動作設定を行うことができます。

MyScript Stylus (P.21 参照)

対応 OS : Windows XP

パソコンに手書きで文字を入力することができるソフトウェアです。

Power Presenter (P.29 参照)

対応 OS : Windows XP / 2000

PowerPoint を使用したスライドショーに文字を入力したり、動作を記録したりできるソフトウェアです。

Free Notes & Office Ink (P.30 参照)

対応 OS : Windows XP / 2000

Word や Excel と連携したり、キーボード入力の代わりにタブレットで手書き入力することができます。

Corel Draw Essentials3 (P.31 参照)

対応 OS : Windows Vista / XP

ポスターや図形などを簡単に作成することができます。

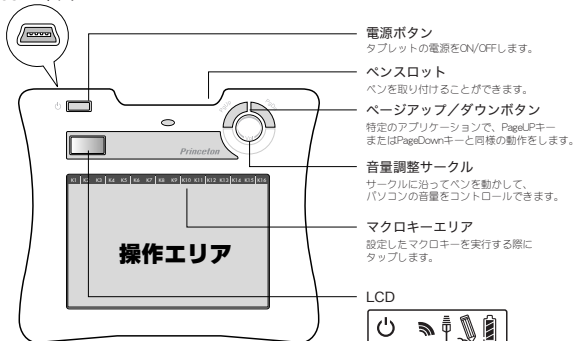
Corel Photo-PAINT Essentials3 (P.31 参照)

対応 OS : Windows Vista / XP

デジタルカメラの撮影ミスをすばやく修正したり、豊富な編集機能を使用して写真に様々な加工や編集を加えることが可能です。

各部の名称

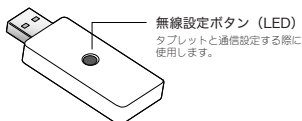
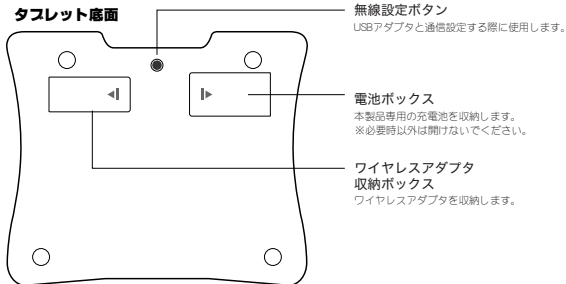
USBコネクタ



タブレット

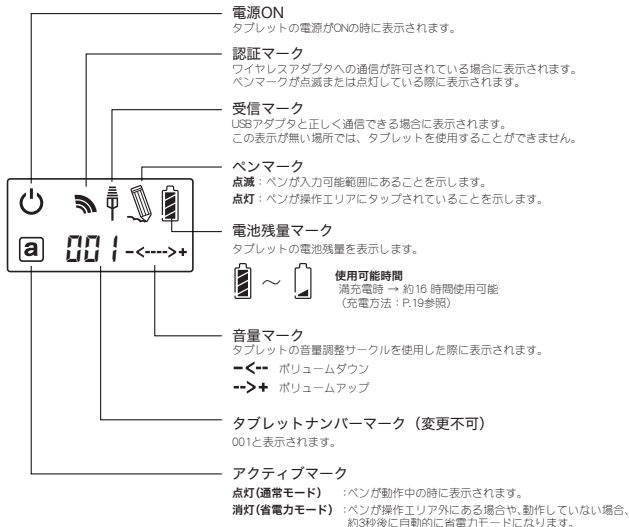


タブレット底面



ワイヤレスアダプタ

LCD



タブレットの準備



Windows XP および 2000 でご利用のお客様へ
マクロキーマネージャのインストールが完了するまでは、本製品とパソコンを接続しないでください。



Windows 7 / Vista ご利用のお客様は、パソコンに接続してすぐにご利用いただけますが、付属ソフトウェア「マクロキーマネージャ」をインストールしていただくと、より快適なペン入力環境でご利用いただけます。

Windows でご利用の場合

マクロキーマネージャ（ドライバソフト）のインストール

付属の Windows 用ドライバ&ソフトウェア CD-ROM からマクロキーマネージャをインストールします。

- 1 パソコンの電源を ON にして、付属の CD-ROM を挿入します。
- 2 「Tablet Driver」を押して、インストールを開始します。

インストールを開始します。

- 3 「完了」を押して、パソコンを再起動します。

「今すぐパソコンを再起動する」に印を付けて、[完了]を押します。

インストールが完了したら、パソコンを再起動してください。



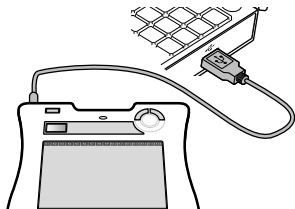
パソコンを再起動すると、タスクバーに、マクロキーマネージャのアイコンが表示されます。



パソコンを再起動後、必要に応じて付属のソフトウェアをインストールしてください。(P.21以降)

4 タブレットを充電します。

初めてタブレットを使用する場合、「タブレットを充電する」(P.19)を参照して、充電を行ってください。



Msc OS での利用の場合

ドライバのインストール

付属の Mac OS 用 CD-ROM からドライバをインストールします。

- 1 パソコンの電源を ON にして、付属の CD-ROM を挿入します。
- 2 CD-ROM を表示します。

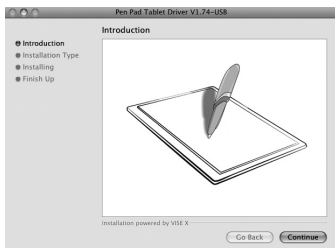
CD-ROM の「Pen Pad Tablet Driver」アイコンをダブルクリックします。

OS の設定によっては、「認証」画面が表示されます。OS に設定されているパスワードを入力してください。

- 3 「Continue」を押します。



Pen Pad Tablet Driver
V1.74-USB



4 「Install」を押して、インストールを開始します。

「Install」を押して、インストールを開始します。



5 「Restart」を押して、パソコンを再起動します。

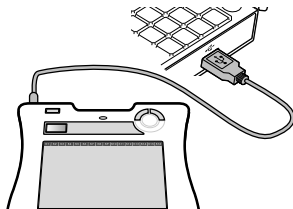
インストールが完了したら、「Restart」を押してパソコンを再起動してください。

パソコンを再起動すると、アプリケーションに、「FkeyHandlerX」のアイコンが表示され、「FkeyHandlerX」が自動的に起動されます。



6 タブレットを充電します。

初めてタブレットを使用する場合、「タブレットを充電する」(P.19)を参照して、充電を行ってください。



Mac OS で使用する場合のご注意

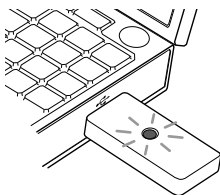
Mac OS で本製品を使用する場合は、「FkeyHandlerX」が起動していることを確認してください。「FkeyHandlerX」が起動していない場合、本製品を正しく使用することができません。



通常、ドライバをインストールすると、次回以降パソコンを起動すると自動的に FkeyHandlerX が起動されます。

「FkeyHandlerX」を起動する場合

1 ワイヤレスアダプタをパソコンに接続します。



2 「FkeyHandlerX」を表示します。

下記の順でフォルダを表示します。

[ライブラリ]



[Application Support]



[HyperPen Tablet]



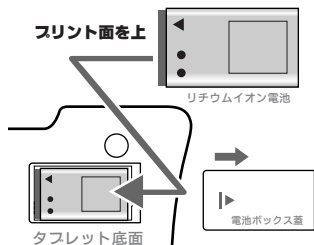
「FkeyHandlerX」アイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。

「FkeyHandlerX」が起動している状態で、本製品を使用したタブレット入力を行うことができます。

タブレットを充電する

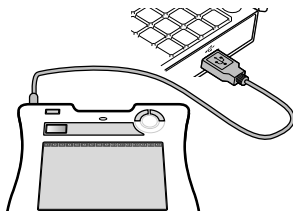
1 タブレットに電池を取り付けます。

タブレットの底面にある電池ボックスに、本製品付属の電池を取り付けます。



2 USB ケーブルでパソコンとタブレットを接続します。

充電完了時間：約 2 時間



充電が完了した後、長時間 USB ケーブルでパソコンと接続をしたままにしないでください。

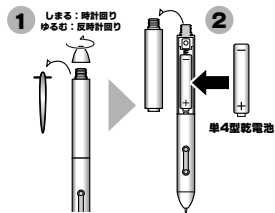
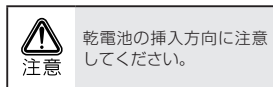
充電が完了したら速やかに USB ケーブルをパソコンから外してください。

電池ボックスは必要時以外は開けずにご使用ください。

専用ペンについて

乾電池の取り付け

ご使用になる前に、ペンに乾電池を取り付けてください。



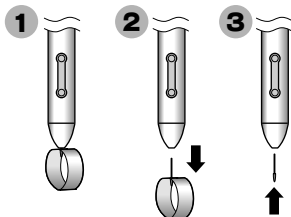
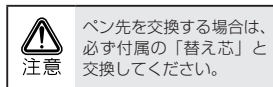
乾電池の交換時期

乾電池の交換時期が近づくと、サイドボタン2が赤く点灯します。早めに新しい乾電池に交換してください。

ペン先の交換

ペン先が丸くなってきたら、付属の「替え芯」と交換してください。

ペン先の交換は、専用のピンセットを使用してください。



付属ソフトウェア (MyScript Stylus)

MyScript Stylus は、パソコンへ手書きで文字を入力することができるソフトウェアです。

テキスト入力エリアに手書きすることで、実行中のアプリケーション (テキストエディタやメールソフトなど) に文字を入力することができます。

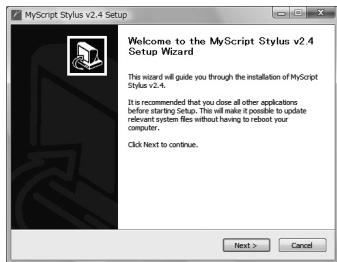
漢字、アルファベット、記号、数字、ひらがな、カタカナを優先的に認識可能にする入力エリアを利用することで、スムーズな手書き入力を実現することが可能です。

また、ソフトウェアキーボード機能も搭載しており、手書き入力では認識が難しい文字もソフトウェアキーボード機能を使用すれば簡単に入力することができます。

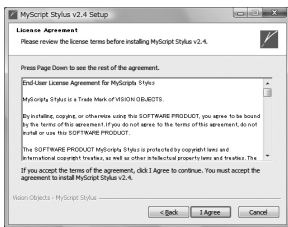
MyScript Stylus のインストール

- 1 付属の「MyScript Stylus」CD-ROM ディスクを挿入します。
- 2 「MyScript Stylus」を押して、インストールを開始します。

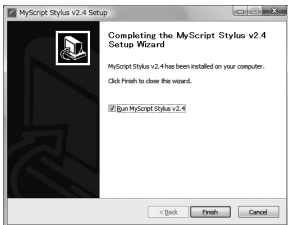
[Next] を押します。



[I Agree] を押します。



チェックをつけておくと、
[Finish] ボタンを押した
後にソフトウェアが起動
します。



3 シリアル番号の入力

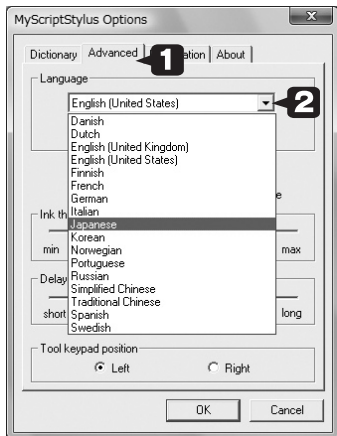
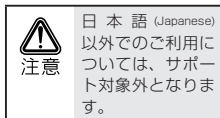
[Register] をクリックし
ます。



4 設定画面の表示

[Advanced] タブをクリックします。

Language メニューから、「Japanese」を選択します。



- 5 インストールが完了すると、デスクトップにソフトウェアのアイコンが表示され、スタートメニューに「MyScript Stylus」が追加されます。



シリアル番号の入力と試用期間について

シリアル番号をいれずに [Try] をクリックした場合、使用開始から 30 日後までは、使用可能ですが、それ以降は、正しく使用することはできません。下記を参考に、CD-ROM に添付してあるシリアル番号を正しく入力してください。



注意

シリアル番号は再発行できませんので、大切に保管してください。

1 [オプションボタン] をクリックします。

ソフトウェアが起動したら、[オプション] ボタンをクリックします。

オプション画面が表示されます。



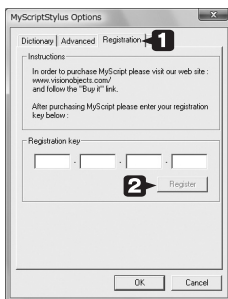
2 [registration] タブをクリックします。

[registration] タブをクリックし番号を入力後、[Register] をクリックしてください。



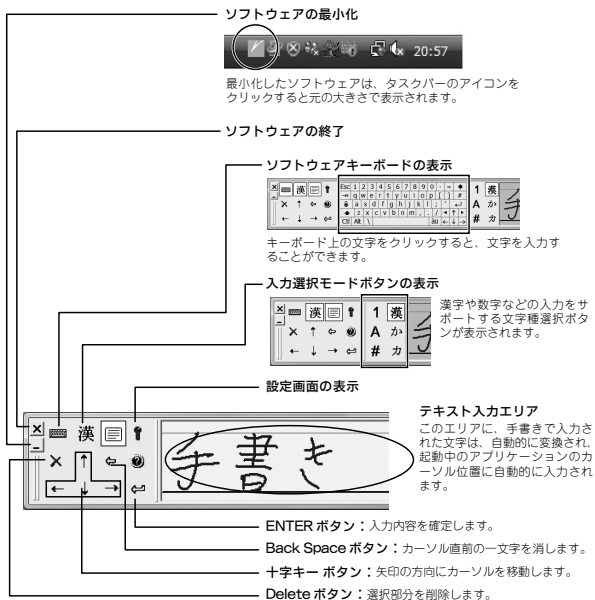
注意

CD-ROM に添付してあるシリアル番号を正しく入力してください。



ソフトウェアの使い方

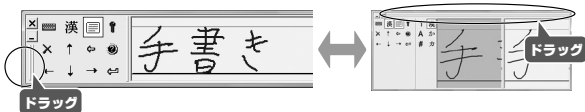
画面の主な機能



画面位置の変更

画面の左側の部分をドラッグすると、任意の位置に画面を移動することができます。

元の位置に戻す場合→元の位置(画面下)に戻す場合、右側の部分をドラッグして画面下に移動します。



タスクバーのアイコン

アプリケーションを起動している間、タスクバーにアイコンが表示されます。



文字入力をする

1 文字入力するアプリケーションを起動する

手書き入力するアプリケーション（メモ帳やメールソフトウェアなど）を起動してください。

2 カーソル位置の確認

手書き入力したい位置に、カーソルを移動します。



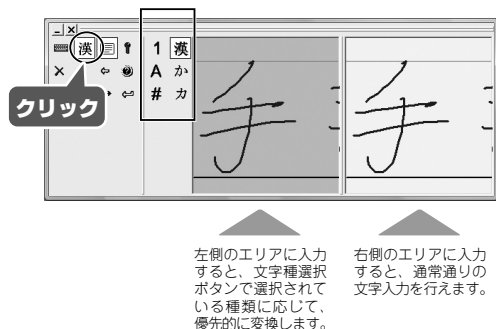
3 文字の入力

テキスト入力エリアに手書きで文字を入力します。自動的に変換されて、カーソル位置に文字が入力されます。



入力選択モードボタンを利用した文字入力

[入力選択モードボタン] をクリックすると、漢字入力をサポートする文字種選択ボタンが表示され、テキスト入力エリアが2分割されます。



文字種選択ボタン

数字	1	漢	漢字
アルファベット	A	か	ひらがな
記号	#	カ	カタカナ

例) アルファベットのO (オー) を入力する場合

- 1 [入力選択モードボタン] をクリックして、文字種選択ボタンの [A] をクリックします。
- 2 左側のテキスト入力エリア (ピンク色) に手書きで「O」と入力します。
通常、「O」を入力した場合、数字の0 (ゼロ) と誤認識される場合がありますが、文字種選択ボタンで優先的にアルファベットを選択しておくことで、スムーズな入力が可能になります。
(※すべての手書き入力→変換を保証する機能ではありません)

その他の付属ソフトウェアについて



付属のソフトウェアについてはサポートを行っておりません。予めご了承ください。

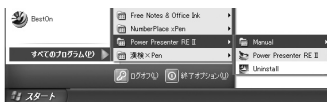
Power Presenter のインストール

- 1 付属の CD-ROM を挿入します。
- 2 「Power Presenter」を押して、インストールを開始します。
- 3 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。



- 4 インストールが完了すると、スタートメニューに「Power Presenter」が追加されます。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。



Free Notes & Office Ink のインストール

- 1 付属の CD-ROM ディスクを挿入します。
- 2 「Free Notes & Office Ink」を押して、インストールを開始します。
- 3 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。



- 4 インストールが完了すると、スタートメニューに「Free Notes & Office Ink」が追加されます。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。



Corel Draw Essentials3 & Corel Photo-PAINT Essentials3 のインストール

- 1 付属の Corel Draw Essentials3 CD-ROM を挿入します。
- 2 「日本語」を選択して、インストールを開始します。

日本語を選択して、
[OK] ボタンを押します。



[同意します] にチェックを付けて
[OK] ボタンを押します。



同梱されているシリアル番号を入力して
[次へ] ボタンを押します。



インストールするソフトウェアに
チェックをつけて [インストール]
ボタンを押すと、インストールを開始
します。
インストールが完了したら [完了]
ボタンを押して、インストールを終了
します。



注意

シリアルナンバーは、同梱されているシリアルナンバーを入力してください。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。

タブレットの基本操作



注意

Mac OS で使用する場合のご注意

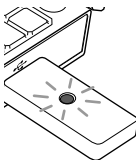
Mac OS で本製品を使用する場合は、「FkeyHandlerX」が起動していることを確認してください。「FkeyHandlerX」が起動していない場合、本製品を正しく使用することができません。

詳しくは、「Mac OS で使用する場合のご注意」(P.15)

タブレットの通信設定 (ワイヤレスアダプタの接続)

1 ワイヤレスアダプタをパソコンに接続します。

ワイヤレスアダプタを接続すると、LED が点灯して通信を開始します。



2 タブレットの電源を ON にします。

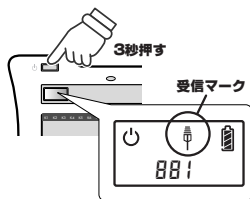
約 3 秒程度電源ボタンを押すと、LCD が表示され電源が ON になります。



注意

受信マークが表示されていない場合は、ペアリング操作が必要になります。

P.33 を参照の上、ペアリング操作を行った後、ご使用ください。

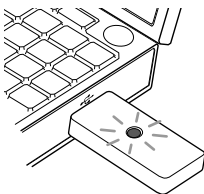


ペアリングについて（無線設定ボタン）

本製品をはじめて使う場合や、ワイヤレスアダプタと正しく通信ができない場合に、タブレット底面およびワイヤレスアダプタの『無線設定ボタン』を使用してペアリングを行ってください。

1 ワイヤレスアダプタをパソコンに接続します。

ワイヤレスアダプタを接続すると、通信を開始します。



2 『無線設定ボタン』を押します。

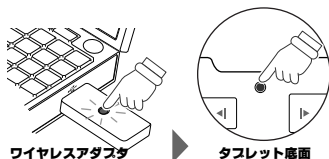
ワイヤレスアダプタの「無線設定ボタン」を押します。

↓
LED が点滅を始めます。

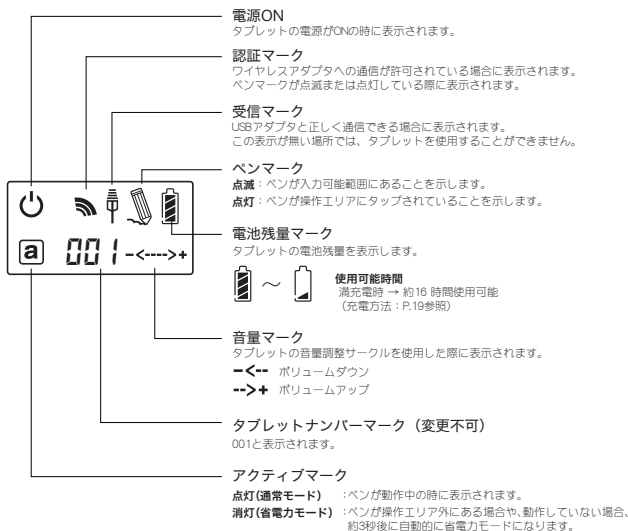
↓
LED が点滅している間に、本体裏面の「無線設定ボタン」を押します。

↓
LCD 画面の数字が 000 で点滅します。

↓
ペアリングが終了すると 001 と受信マークが表示されます。



LCD について



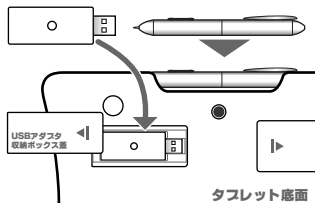
ペンの持ち方

通常のペンと同様に持ちます。



ワイヤレスアダプタとペンを収納する

ペンとワイヤレスアダプタをタブレットに収納することができます。



注意

USB アダプタを収納する時は、しっかりと蓋を閉じて、持ち運び時などに落とさないよう注意してください。

パソコンの画面と操作エリアについて

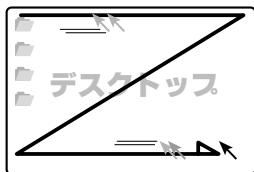
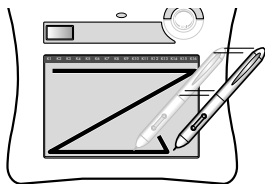
初期設定では、タブレットの操作エリア（動作モード）とパソコンの画面が、同じ範囲として動作します。



HINT

操作エリア（動作モード）の設定は、本製品付属の『マクロキーマネージャ』で行います。設定に関する詳細は、マクロキーマネージャ付属のヘルプを参照してください。

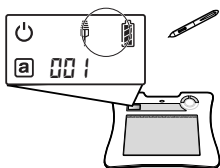
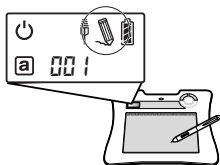
しばらくペンを使用しない場合、ペンが節電モードになります。再度使用する場合は、ペン先を一度く押しすと使用できるようになります。



ペンをタブレットの操作エリアの上に移動して、ペンがタブレットの有効範囲に入ると、LCDにペンマークが表示されます。

この状態で、ペンを動かすとデスクトップのカーソルが移動して、使用できる状態になります。

ペンが操作エリアの外に出ると、ペンマークが消えて、操作ができなくなります。

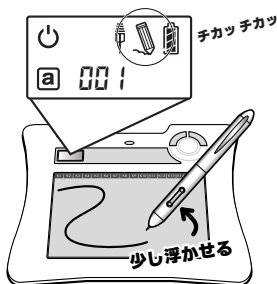


カーソルの移動と操作

カーソルの移動

操作エリア内で、ペンを移動させると、パソコン画面上的のカーソルが移動します。

LCDのペンマークが点滅します。

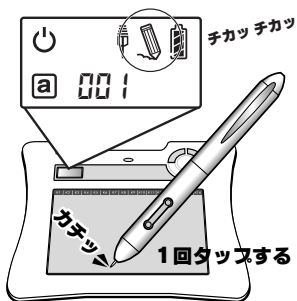


クリック

操作エリア内で、ペンを1回タップします。

デスクトップ上のファイルやフォルダを選択することができます。

LCDのペンマークが点滅します。



本製品付属の『マクロキーマネージャ』を使用すると、「サイドボタン」に様々な機能を割り当てることができます。

『マクロキーマネージャ』の詳細は、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。

ダブルクリック

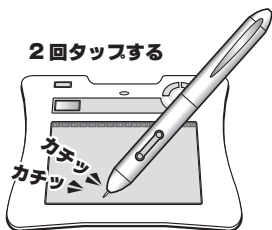
操作エリア内で、ペンを2回続けてタップします。

デスクトップ上のファイルやフォルダを表示することができます。



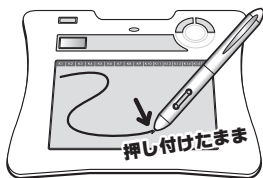
本製品付属の『マクロキーマネージャ』を使用すると、「サイドボタン」に様々な機能を割り当てることができます。
『マクロキーマネージャ』の詳細は、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。

2回タップする



ドラッグ

操作エリア内で、ペン先をタブレットに押し付けたまま、ペンを移動します。



サイドボタンについて

ペンには「サイドボタン」が搭載されています。
このボタンは、ペンの操作を補助するもので、二つのボタンには「ダブルクリック」や「右クリック」など色々な機能を割り当てることができます。

→『タブレットの設定』(P.40、P.46) 参照

音量調整サークル

特定のアプリケーションでは、タブレットの音量調整サークルを使用して、音量調節を行うことができます。



時計回り
音量が上がります。

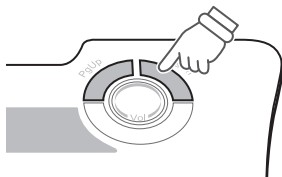
反時計回り
音量が下がります。

溝にあわせて、ペンを
スライドさせます。



ページアップ／ダウンボタン

特定のアプリケーションでは、タブレットのページアップ／ダウンボタンを使用して、画面をスクロールすることが可能です。



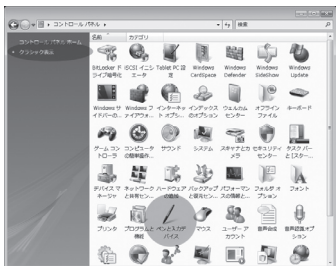
タブレットの設定 (Windows)

ご使用の用途や環境に合わせて、タブレットの動作設定を行ってください。設定方法は、ご使用の OS により異なりますので、下記を参考に設定してください。

Windows Vista の場合 (Home Basic を除く)

[スタート] → [コントロールパネル] → コントロールパネル左側の [クラシック表示] を選択します。

『ペンと入力デバイス』を選択すると、タブレットの設定画面が表示されます。

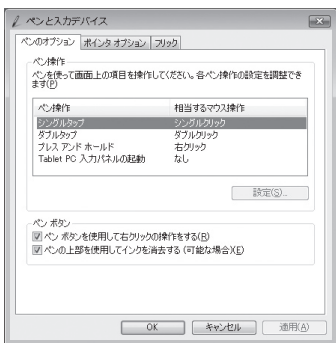


この画面では、タブレットのクリック操作の設定を行うことができます。



『Windows Vista をご利用の場合』(P.42) もお読みください。

「マクロキーエリア」や「サイドボタン」の設定は、本製品付属の『マクロキーマネージャ』で行ってください。『マクロキーマネージャ』の詳細は、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。



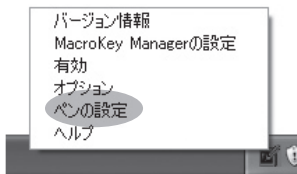
Windows Vista Home Basic / XP / 2000 の場合

タブレットの動作設定や「マクロキーエリア」「サイドボタン」の設定は、本製品付属の『マクロキーマネージャ』で行います。

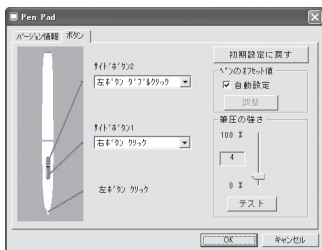
下記の手順で『マクロキーマネージャ』の設定画面を表示して、設定を行ってください。

『マクロキーマネージャ』の詳細は、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。

タスクバーの マクロキーマネージャのアイコンを、右クリックします。



[ペンの設定] をクリックすると、タブレットのプロパティが表示されます。



マクロキーについて

本製品は、タブレットの入力やパソコンの操作を補助する『マクロ機能』を搭載しています。

操作エリアのマクロキーをタップするだけで、あらかじめ登録された操作を簡単に実行することができます。



『マクロキーマネージャ』の詳細は、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。

Windows Vista をご使用の場合

Windows Vista (Home Basic 除く) のタブレット入力機能について

本製品を Windows Vista (Home Basic を除く) で使用される場合、OS に搭載されている、タブレット入力専用の様々な機能をご利用いただけます。



注意

「Windows Vista」には、複数のエディションが用意されており、それぞれのエディションでは提供される機能が一部異なります。ご使用の Windows Vista では、本項に記載されている機能が搭載されていない場合がございます。あらかじめご了承ください。

詳しい設定および入力方法については、「Windows Vista」のヘルプを参照してください。

タブレット入力機能を使用する

[スタート] → [アクセサリ] → [Tablet PC] の順に選択します。



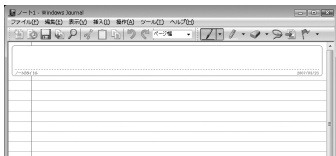
Tablet PC 入力パネル

「Tablet PC 入力パネル」では、タブレットを使用して、手書きした文字をキーボードを使って入力した場合と同じように変換し、手書き文字を入力パッド部分に表示します。



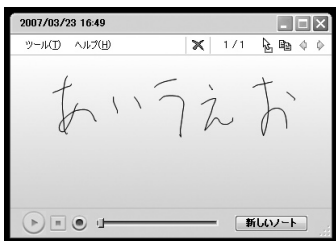
Windows Journal

「Windows Journal」では、手書きのノートと同じように使用することができます。手書きの文字をそのまま印刷したり、テキストに変換するなど様々な利用が可能です。



付箋

「付箋」では、手書きのメモをデスクトップ上に残すことができます。ポイスメモなども残すことが可能です。



Snipping Tool

Snipping Tool では、手書き入力機能に加えて、画面上のあらゆる部分を簡単に切り取ってメモを残すなどの操作が可能です。

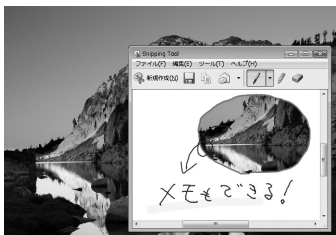
[スタート] → [アクセサリ]
→ [Snipping Tool] の順に選択します。



タブレットを使用して、切り取る範囲を囲うだけで簡単にキャプチャできます。



Windows Vista でマク
ロキーマネージャを利用している場合、初期
設定で「K14」のマク
ロキーに設定されてい
ます。



「Office 2007」のデジタルインク機能

「Office 2007」の Word、Excel、Outlook、PowerPoint、OneNotes ではタブレットの手書き入力による、注釈機能に対応しています。

詳しくは、各ソフトウェアのヘルプで「インク注釈の挿入」を参照してください。

タブレット入力の設定

タブレットの設定は、コントロールパネルの『Tablet PC 設定』『ペンと入力デバイス』から行います。
ここでは、クリックやドラッグ操作に関する詳細な設定を行うことができます。

1 [コントロールパネル] を表示します。

[スタート] → [コントロールパネル] → コントロールパネル左側の [クラシック表示] を選択します。



『Tablet PC 設定』を選択すると、タブレットの設定画面が表示されます。

2 画面の指示にしたがって、設定を行います。

この画面では、タブレット入力に関する詳細な設定が可能です。

また、「フリック」を設定することにより、「コピー」「貼り付け」「削除」「元に戻す」などのキーボードマクロ機能を使用できます。



詳しい操作方法や設定方法は、Windows Vista のヘルプを参照してください。

タブレットの設定 (Mac OS)

PenPad を表示する

アプリケーションから「Pen Pad」をダブルクリックすると、



タブレットのプロパティが表示されます。



バージョン情報

[バージョン情報] を選択すると、タブレットの動作モードの設定や現在の情報を表示します。



① 単位

表示される情報の単位を変更します。

② ペンの動作モード

タブレットの動作モードを設定します。初期設定では、タブレットの操作エリアとデスクトップの範囲が同じ設定になっています。(絶対座標モード)

絶対座標モード

操作エリア=デスクトップの範囲として動作

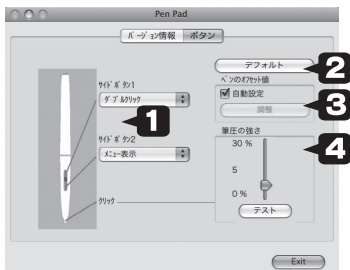


相対座標モード

通常のマウス操作と同じ動作

ボタン

ボタンタブを選択すると、ペンの動作設定を表示します。



① サイドボタン 1 サイドボタン 2

ペンのサイドボタンを押した際に使用する操作を登録します。

② デフォルト

設定を初期設定に戻します。

③ ペンのオフセット値

通常は[自動設定]に印をつけてご利用ください。

ペンの操作とカーソルの位置がズれている場合、[自動設定]の印を外して、[調整]ボタンを押すとオフセット値を変更することができます。

④ 筆圧の強さ

1～30の範囲で設定することができます。クリックやドラッグ操作する際に、ペンに加える圧力を調整します。

[テスト]ボタンを押すと、実際にペン操作を行って設定を確認することができます。

マクロキーについて (FKeyHandlerX)

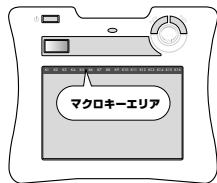
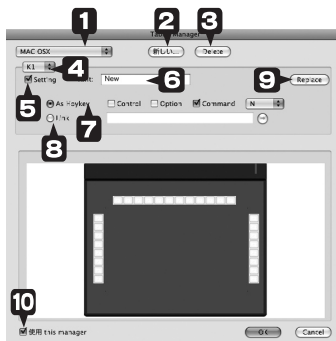
本製品は、タブレットの入力やパソコンの操作を補助する『マクロ機能』を搭載しています。

操作エリアのファンクションキー（マクロキー）をタップするだけで、あらかじめ登録された操作を簡単に実行することができます。

マクロキーエリアの設定

アプリケーションから「FKeyHandlerX」をダブルクリックすると、TabletManager が起動します。





この画面では、タブレットに設定されている「マクロキーエリア」のタップした際に起動する操作を設定することができます。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 マクロキーリスト | 登録されているマクロキーセットが表示されます。
使用するマクロキーセットを選択して、[OK]を押します。
マクロキーセットを新規作成すると、このリストに追加されます。あらかじめ登録されているマクロキーリストは、削除することはできません。 |
| 2 新しい設定 | マクロキーセットの作成や変更をします。 |
| 3 Delete (削除) | マクロキーセットを削除します。
あらかじめ登録されているマクロキーリストは、削除することはできません。 |
| 4 マクロキー | マクロを割り当てるキーを選択します。 |
| 5 Setting (設定) | チェックをつけると、選択されているマクロキーに操作を登録できます。 |
| 6 Hint (ヒント) | 操作エリアのマクロキーにペンを合わせると、デスクトップ上にヒントが表示されます。 |

-
- | | | |
|-----------|---|--|
| 7 | As Hotkey
(ショートカット) | 自動実行されるキーを設定します。 |
| 8 | Link (リンク) | 起動するアプリケーションを選択します。 |
| 9 | Replace (適用) | 設定した操作が、マクロキーに登録されま
す。 |
| 10 | 使用 (タブレット接
続時にソフトウェア
を有効にする) | タブレット接続時にソフトウェアを起動す
る場合は、チェックをつけます。 |
-
-

マクロキーリストの新規作成

設定された複数のマクロキーを一つのファイルにまとめて使用することができます。使用するアプリケーションに応じて、簡単に切り替えることができます。

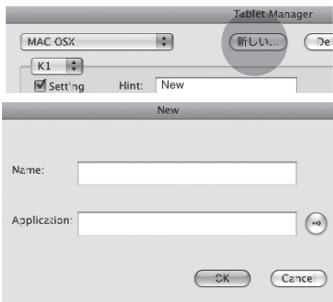
1 FKeyHandlerX を起動します。

アプリケーションから「FKeyHandlerX」をダブルクリックすると、[Tablet Manager]が表示されます。



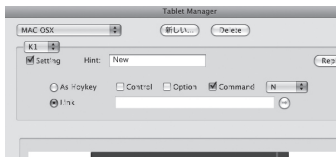
2 [新しい設定] を押します。

[新しい設定] を押します。「name」に設定名を入力して [OK] を押します。



3 マクロキーを登録します。

マクロキーを登録します。



■マクロキーにキーボード操作を登録する場合

例：マクロキー「1」に、[Command][N]ボタンを同時に押す操作を登録

マクロキーの「K1」を選択します。

↓
「Setting」に印を付けます。

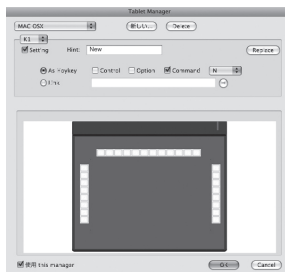
↓
「As Hotkey」のラジオボタンに印を付けます。

↓
「Command」のチェックボックスに印をつけます。

↓
「N」を選択します。

↓
「Hint」を入力します。

↓
「Replace」を押します。



■マクロキーにアプリケーションを登録する場合

例：マクロキー「1」に、[chess] を登録

マクロキーの「K1」を選択します。



「Setting」に印を付けます。



「Link」のラジオボタンに印を付けます。



参照ボタンを押します。



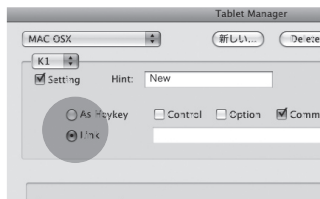
Finder から「chess」を選択します。



「Hint」を入力します。



「Replace」を押します。



マクロキーセットの保存

各マクロキーを設定したら、
[OK] を押して、現在のマク
ロキーセットを保存します。



保存されたマクロキーリストは
「マクロキーリスト」に追加さ
れます。

マクロキーリストを呼び出す

マクロキーリストを呼び出す場
合は、「マクロキーリスト」から、
呼び出すマクロキーリスト名を
選択します。



困った時は

■使用前の質問

タブレットとマウスの操作性の違いについて

タブレットは、より紙と鉛筆に近い感覚で使用できます。これはマウスは相対座標なのに対し、タブレットは絶対座標で動作するという違いがあるためです。マウスに慣れている場合、使い始めは戸惑う場合があるかもしれませんが、利用しているうちにタブレットの使いやすさを実感していただけるはずです。また、必要に応じて動作モードを変更してください。(P.36、P.47)

タブレット本体の上に物を置いても大丈夫ですか？

タブレットは精密な機器です。重量物やとがったものなどは載せないでください。また、使用中は強い衝撃を与えないでください。

しばらく使用しないときはUSBポートから取り外して保管してください。湿気や埃の多い場所および高温になる場所での保管は避けてください。

ドライバがインストールできない

Windowsの場合、管理者権限でログインしている必要があります。公共のスペースなどの場合、制限されている場合があります。

■操作に関する質問



タブレットが使えない／カーソルが動かない

パソコンに正しく本体が接続されているかご確認ください。
接続されるとワイヤレスアダプタのLEDが青く点滅します。
(P.32)

ペンの乾電池が消耗していないか確認してください。(P.20)

ワイヤレスアダプタをPC本体のUSBポートに挿して確認してください。USBハブ経由の場合は動作しないことがあります。

Macintoshの場合も、キーボード脇のUSBポートではなく、PC本体のUSBポートで動作確認してください。

ドライバを一度アンインストールしてから再度インストールしてみてください。(Windows Vistaを除く)

Macintoshの場合は、FkeyHandlerXが起動しているか確認してください。(P.18)

ペンをタブレット本体から離しすぎると正しく動作しません。
本体から1cm程度までの距離で利用できます。(P.36)

しばらくペンを使用しない場合、ペンが節電モードになります。
再度使用する場合は、ペン先を一度軽く押すと使用できるようになります。

ペアリングが正常に行われていない可能性があります。
LCD画面に受信マーク(P.34)が表示されていない場合は、
正しくペアリングが行われていません。
P.33を参照の上ペアリングを行ってください。

サイドボタンが正しく動作しない

ペンの乾電池が消耗していないか確認してください。(P.20)

正しくタブレットの設定が行われているか確認してください。
(P.40、P.46)

ペンを本体から離しすぎると正しく動作しません。本体から
1cm 程度までの距離で利用できます。(P.36)

サイドボタン操作を行う時にペンがずれてしまったり、ペン
がタブレットに触れてしまいクリックしてしまう場合があります。
何度か操作を繰り返すうちに慣れてきます。

ペンの動作が遅い

パソコンの環境によっては、動作が若干遅くなる場合があります。
必要のないソフトウェアを停止することにより改善する
場合があります。お試しください。

マクロキーマネージャの使い方がわからない(Windowsのみ)

マクロキーマネージャをインストール後、タスクトレイに表
示されるアイコンを右クリックし、ヘルプをクリックしてく
ださい。

なお、ヘルプを参照するためには Adobe Reader が必要になり
ます。

Adobe Reader は <http://www.adobe.com/jp/products/reader/>
からダウンロードすることが可能です。

■その他の質問

消しゴム機能はありますか？

ありません。描画した画像などを削除する場合は、削除の設定にしてから操作を行ってください。

マクロキーに、頻繁に使うショートカットキーやアプリケーションを登録しておくると便利に使用できます。

ペンを失くしてしまいました

付属品の一部は別途、販売しております。詳しくはホームページ (<http://www.princeton.co.jp/index.html>) をご確認ください。

付属ソフトウェアについて

マクロキーマネージャ以外のソフトウェアについては、サポートを行っておりません。ご了承ください。
操作方法については、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。

付属ソフトウェアのシリアル番号をなくしました。再発行できますか？

シリアル番号は、1つの製品につき、1つのシリアルとなっております。
再発行はできませんので、シリアル番号の紛失には十分ご注意ください。

製品仕様

読み取り範囲	7.84 インチ × 5.92 インチ (199.1mm × 150.3mm)
読み取り分解能	0.0127mm
読み取り精度	0.42mm
読み取り速度	120rps
筆圧レベル	1024 レベル
使用無線帯域	2.4GHz
通信距離 ※ 1	約 30m (使用状況により異なります)
電源	内蔵リチウムイオン電池
連続使用可能時間	約 16 時間 ※ 2
対応機種 ※ 3	USB ポート、DVD-ROM ドライブを標準搭載した DOS/V、PC-98NX および Apple Macintosh
対応 OS	Windows 7 / Vista / XP / 2000 (すべて日本語版) Mac OS X 10.2.8 以降
外形寸法	W278 × D282 × H20(mm)
質量	595g

※ 1 電子レンジやコードレス電話、ワイヤレスネットワーク機器など電波障害を発生する可能性のある機器の近くでは交信範囲が狭くなることがあります。

※ 2 使用状況により異なります。

※ 3 パソコンに標準搭載されている USB ポートに接続してご利用ください。
USB ハブでの使用はサポートしておりません。
すべてのパソコン環境での動作を保証するものではありません。

お手入れ

本製品のお手入れは、接続されているケーブル類を全て取り外し、湿気や水気の無い場所で行ってください。

- ・本製品の汚れのふき取りは、乾いたやわらかい布で行ってください。
- ・ひどい汚れなどをふき取る場合は、中性洗剤を水で薄めやわらかい布に付けて、固く絞ったあとふき取ってください。絶対にシンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

専用リチウムイオン電池について

本製品に内蔵されているリチウムイオン電池は、約 500 回の充放電ができます。充放電の回数はご使用の環境や使用時間により異なりますので、あらかじめご了承ください。

電池交換について

完全に充電した状態にもかかわらず使用時間が短くなったり、電源が入らなくなった場合は、電池の寿命が原因の場合がございます。本製品に内蔵されているリチウムイオンポリマー電池の交換につきましては、弊社「テクニカルサポートセンター」までお問い合わせください。なお、リチウムイオンポリマー電池につきましては消耗品扱いとなり、弊社保証期間内の交換でも有償での交換となります。

ユーザー登録について

弊社ホームページにて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ「ユーザー登録」

<http://www.princeton.co.jp/support/top.html>

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。

※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

サポートについて

●保証書に必要事項をご記入ください

保証書は本製品パッケージに添付しております。販売店による「販売店名」「お買い上げ日」の記入がされていることを確認してください。

その他、必要事項をご記入の上、本書と一緒に大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げ日から1年

●修理を依頼される場合

本書の記載を再度ご確認ください。それでも改善されない場合は、販売店または弊社「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。

保証期間内の修理につきましては、「保証既定」に従い修理を行います。製品の修理には保証書（パッケージに印刷）が必要です。

保証期間外の修理につきましては、有料にて修理させていただきます。販売店または弊社「テクニカルサポートセンター」までご相談ください。

●その他サポートに関するお問い合わせ

弊社「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。

テクニカルサポートセンター



電話からのお問い合わせ

【受付】月曜日から金曜日（祝祭日および弊社指定休業日を除く）
9:00~12:00、13:00~17:00

03-6670-6848



Webからのお問い合わせ

<http://www.princeton.co.jp/contacts/top.html>

製品保証に関して

- ・万一、製品のご購入から1年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障判断完了後、無償にて修理/製品交換対応させていただきます。修理にて交換された本体および部品に関しての所有権は弊社に帰属するものと致します。
- ・保証の対象となる部分は製品部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。
- ・本製品の故障または使用によって生じた損害は、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ・当社は商品どうしの互換性問題やある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、黙示的にも明示的にもいかなる保証も行っておりません。また販売した商品に関連して生じた下記のような障害および損失についても、当社は一切の責任を負わないものといたします。
- ・一度ご購入いただいた商品は、商品自体が不良ではない限り、返品または交換はできません。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承ください。

This warranty is valid only in Japan

免責事項

■保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となります。

- ・保証書のご提示がない場合、または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
- ・設備、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損害。
- ・輸送・落下・衝撃など、お取り扱いが不適切なために生じた故障・損害。
- ・お客様の真に帰すべき事由により生じた機能に影響のない外観上の損傷。
- ・火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地災異、異常電圧などにより生じた故障・損害。
- ・接続しているほかの機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損害。
- ・お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障・損害。
- ・お客様の故意または重大過失により生じた故障・損害。
- ・取扱説明書記載の動作条件ならびに機械環境要件を満足していない場合。
- ・弊社もしくは弊社指定の保守会社以外で本製品の部品交換・修理・調整・改造を施した場合。
- ・運搬などより製品を入手した場合。

■お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体のデータに関する損害、逸失利益、ダウンタイム(機能停止期間)、顧客からの信用、設備および財産への損害、交換、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用(人件費、交通費、復旧費)等、一切の保証は致しかねます。またそれらは限定保証の明記がされていない場合であっても(契約、不法行為等法理論の如何を問わず)責任を負いかねます。

■製品を運用した結果の他への影響につきましては一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

■購入された当社製品の故障、または当社が提供した保証サービスによりお客様が被った損害(経済的、時間的、業務的、精神的等)のうち、直接・間接的に発生する可能性のあるいかなる逸失利益、損害につきましては、当社に故意または重大なる過失がある場合を除き、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。また、弊社が責任を負う場合でも、重大な人身損害の場合を除き、お客様が購入された弊社製品などの価格を超えて責任を負うものではありません。

製品修理に関して

- ・保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所にご送付させていただきます。
- ・動作確認作業中及び修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
- ・お客様に商品が到着した日から1週間以内、お客様より当社に対して初期不良の申請があった場合でも、なおかつ弊社の認定がなされた商品とのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際にご購入時の梱包、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
- ・修理品に関しては「製品保証書」を必ず同梱し、下記「お問い合わせについて」に記入された住所までご送付ください。
- ・製造中止等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
- ・お客様の設定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料を頂く場合がございますので予めご了承ください。
- ・お客様の都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料及び運送料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承ください。
- ・サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付頂いた場合で、症状の再現性が見られない場合、及び製品仕様書の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承ください。

修理/お問い合わせについて

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

テクニカルサポート

〒101-0032 東京都千代田区春本町3-9-5 KALビル 3F プリンストンテクノロジー株式会社 テクニカルサポート課
TEL : 03-6670-6848 (受付:月曜日から金曜日の9:00~12:00, 13:00~17:00 祝祭日および弊社指定休業日を除く)
Webからのお問い合わせ : <http://www.princeton.co.jp/support/top.html>



A series of ten horizontal dashed lines spaced evenly down the page, serving as a guide for writing.



A series of ten horizontal dashed lines, spaced evenly down the page, serving as a guide for writing.

本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
本書の内容は予告なく変更されることがあります。
本書の著作権はプリンストンテクノロジー株式会社にあります。
本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
本書ではTM ®は明記しておりません。
本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。
あらかじめご了承ください。

最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新の製品情報や対応情報を紹介しております。

URL <http://www.princeton.co.jp/>

プリンストンテクノロジー株式会社

Copyright © 2010 Princeton Technology, Ltd.

2010年3月 第2版

プリンステクノロジー株式会社